

野の花館だより

2009/夏号 / No.52

みどりが目にまぶしい季節です。この緑の季節が一番素敵だと感じているのは私だけではないはず...

五月晴れの5月、まぶしくキラキラ輝く5月、希望が感じられる5月・・・。

皆様にはお変わりございませんか？野の花館だよりも元に戻っての発行です。

野の花館は第10期総会を終え、その前には第15回野の花館まつりも終わって、新しい年の出発をスロ・なモ・ドで始めております。



(ミール)ミニコンサート開催

ヴァイオリン&ピアノ・デュオ

ヴァイオリン(稲田竜斗) ピアノ(稲田由香里)

とき・2009年6月28日(日) 13:30開場 14:00開演

参加費 大人 1,000円 子どもは無料

“無伴奏・ソロ”

いつも一緒に弾いているヴァイオリンとピアノ、単独では？
それぞれ一人で演奏する曲を中心にお届けします。

野の花館郷土料理教室・・・講師

冷や汁を作ろう

7月4日(土) 10:00～

郷土食冷や汁・クロ蒸しパンを作る

参加費:大人のみ500円 子どもは無料

平和を考える集い・2009・宮崎演劇祭2009参加作品

宮本研・作

1幕

出演 二人の会 濱崎けい子



まちがと

【高鍋町北高鍋、主婦黒木淑子さん(65)】子どもが大好き。今春、双子の孫娘が小学校に入学したのですが、先日、参観日に呼んでくれました。本当にうれしかった。また、呼んでくれるそうなので今から楽しみ。

花いちもんめ

中国ハルピンで、戦争のために家族がばらばらになってしまった母親と姉弟のお話。戦争体験を伝える・・・伝え続けたい あの惨劇を！！

とき 8月15日(終戦記念日)開場 19:00、開演 19:30

参加費:大人・2000円、子ども1000円

お問い合わせはNPO 法人野の花館(TEL0983-23-0701)

第15回野の花館まつり

人形劇 「ももたろう」さつき会

5月2日(土)

オカリナ演奏 (浜砂和彦さん)

演奏曲目

1. 大きな古時計
2. エーデルワイス
3. コンドルは飛んで行く
4. 贈る言葉



和太鼓演奏(鼓遊太鼓)



年)5月6日 水曜日 宮崎日日新聞



春の味覚と多彩な舞台を楽しんだ第15回野の花館まつり

ものほか、子どもたちも、環境への意識を高めるため、第一回から毎年料理を作り続けている。来場者は五月晴れの下の、庭先のごちそうをほお張り、和やかな時間を過ごした。舞台上で

春の味覚や舞台満喫 野の花館まつり盛況

高鍋

高鍋町北高鍋の特定非営利活動法人(NPO法人)野の花館で、第十五回野の花館まつりが、百あった。緑豊かな敷地内で採れたタンポポやヨモギなどを使った料理と、人形劇、紙芝居など多彩な舞台で来場者を喜ばせた。家族連れを中心に町内外からたくさんの人出があった。昼食にはちらしずしや白あえ、天ぷらなどを三百円で提供。ミツバやドクダミ、茶の芽といった食材は野の花館の庭で採れたものばかり。子どもたちも、環境への意識を高めるため、第一回から毎年料理を作り続けている。来場者は五月晴れの下の、庭先のごちそうをほお張り、和やかな時間を過ごした。舞台上で



は、町内外のグループ、個人による人形劇「桃太郎」やオカリナ演奏、和太鼓演奏、碗が食べられるなんて、自然が豊かに残っているんですね。守っていかないといいな」と話していた。

福岡市東区、会社員藤原和夫

町内に家族で備蓄していた

感想

伊藤夏勢（小5）

ぼくは、野の花館祭りで一番楽しかったのは、ツリークライミングだった。祭りなのでさかさまくらいしてみようかと思ったのだがゆうきはでない。けっきょくできなかつた。でも、他の人に教えてあげると、「ありがとう」といわれたりしていたのでうれしかった。

二番目は太こだった。ドはくりよくで、自分の体にひびくほどだった。ぼくの友達で、太こをやっている子がいるのだけどそれより上手だった。友達には失礼だが.....。

三番目は、子どもたちがやっていた店だった。前回にひきつづき今回フィギュアなどもそろえていたのがうれしかった。さくらんぼはおいしいし、大人にもひょうばんだったのがすごかった。去年のもおいしかったのだが、今年のもおいしかった。

ほかにも楽しかったことはあるけどここでは、ベスト3をしようかした。みんなの花かんまつりは、たのしそうだった。来年もこのちょうしがいいなと思う。

フォークダンス（高鍋フォークダンス愛好会）

お話ふうせん

「地のはての井戸」お話：間 妙子 「うさぎ楽土」お話：荻原 桂子

「大型紙芝居」岡田心平さん・絵本読み聞かせなど

*おとうさん ほか

春を食べる会



フォークダンス



トゥリークライミング



第10期野の花館定期総会・・・5月10日(日)

2009年5月10日春の連休最後の日曜日14時から野の花館能舞台において第10期総会が開かれました。総運営会員(35名)中、出席者9名委任状出席14名で定刻になり、司会者則松和恵が開会を宣し、本総会が定款所定数を満たしているのが有効に成立している由をつけ、議長の選任方法を諮った所、満場一致を持って伊藤心平氏が選任されました。続いて議長より挨拶の後、議案の審議に入りました。

1. 議事の経過の要領及び議案別決議の結果

議案1.平成20年度事業報告書及び収支決算報告書について事務局より説明があり議長は、これを議場に諮ったところ満場一致で異議なく可決決定しました。(別紙参照)

議案2.平成21年度事業計画書及び収支予算書についても同じく可決決定でした。(別紙参照)

議案3.役員任期満了につき改選の件について議長は理事全員が任期満了につき、その改選を議場に諮りました。退任4人、新任4人を加えた理事会案が満場一致で可決され、次の者が選任され、被選任者はいずれもその就任を承諾しました。

理事 伊藤心平(重任) 理事 金丸 智子(重任) 理事 隈元 三枝子(重任)

理事 黒木 淑子(重任) 理事 則松 和恵(重任) 理事 日野原 義文(重任)

理事 伊藤美穂子(新任) 理事 稲田竜斗(新任) 理事 スモ-ル・ブライアン(新任) 理事 藤田規子

理事北川義男(退任) 理事永野寛(退任) 理事 田村 光弘(退任) 理事 則松 節男(退任)

監事 黒木 至美(重任) 監事 黒木 えり子(重任)



1 年を振り返って

藤田規子

早いもので2008年度もあつと言う間に終わり、新しい年に入りました。一昨年まで仕事の忙しさに紛れて、野の花館の行事はいつも参加するだけでした。

季節の移り変わりの中で様々な想いを与えてくれた野の花館、とりわけ今は亡きマルセ太郎氏の一人芝居は、その場面が目の前に繰り広げられその迫力に圧倒されました。今でもその一場面と登場人物の深い悲しみが脳裏をよぎります。

2008年度の野の花館は、人形劇団「ののはな」に始まり、稲田デュオのニューイヤーコンサートと四季折々に合わせた演奏、5月は例年の野の花館まつり昼食を予定より多めに作るのですが、いつも品切れ状態。6月の郷土料理、7月は竹細工、8月の平和を考える集いの月光の夏の感動と悲しみ、9月の染色教室は予定数を超えて集まった子供とお母さんに嬉しい悲鳴、ヨモギやタマネギの皮の染色にキラキラと目を輝かせる子供達。10月のみそづくり、11月のいろり開きとアイスランド音楽の夕べ、どれをとっても新しい感動でした。

いろいろな影響や感動を与えてくれた野の花館、このような場所を長年支えてきたスタッフには、本当に頭のさがる思いです。

育児だより

* 伊藤兄弟 *

伊藤 美穂子

今年のうちのパセリは元気がいい。どんどん伸びて葉をひろげるから、近くに植えているローズマリーの若枝が、横へ横へと伸びている。摘みたてのパセリは、新鮮な味だ。人に例えれば、まがったことのきらいな、きちんとしたまっすぐな人。ちょっとがんこ者。

うちの子供達も元気いっぱい。特に夏勢。言われなければ心臓病なんてわからない。医師からは、リレーでおもいきり走るのはだめとか、剣道は禁止とか注意されるけれど、できる範囲で、自分のペースでいるんなことにチャレンジしている。親としては、ハラハラしながらも、うれしく見守る毎日である。友樹は、名前を呼ぶと、「イヤー。」と返事が返ってくるようなわかりやすい反抗期。朝、出かけるためにくつをはくの20分かかる。言われた通りに動くのがいやなだけとはわかっているけど、私もいつも寛大ではられない。どなってから親失格の三文字が頭の中をぐるぐるまわる。そのうちに、気分転換の早い友樹にニッコリされて、なぐさめられるのだが(笑)。

これから梅雨 野の花館の竹の緑も美しい季節である。子育てにつかれたら、舞台に座ってぼんやり見ているだけで、きっと元気になれるだろうな、と思う。次回の企画も楽しみだ。



友樹君

* かんきつ姉弟 *

金丸 智子

少しずつ緑が濃くなり、夏の近づいてくる気配がしますがいかがお過ごしでしょうか。我が家は連休の終わるころより一人二人と具合が悪くなり、果ては私まで寝込み、世間よりも一週間長いGWとなりました。おかげで子ども4人とゴロゴロ、頭痛、腹痛がする中、読書にふける毎日。長男、長女の本音も聞けたぜ - タクな時間を味わいました。

さてさて、うちのチビ二人、友達の家に遊びに行くのがブームになっており、慣れたところには泊ってくるほどに…。夜は「おかあがいないと困る」とシクシクしていたのに、今じゃ全然平気で行ってしまう。まあ、親としては楽チンで有難いばかり、夜には広々眠れるし、むかえに行けば「まだかえら - ン!」...でも一緒に行っただっこそされたら、あっという間に夢の中。それなりに緊張していたんだらうねえ。もう、かわいくっておもしろ - い! 母はたまらんです。



かんきつ姉弟と山下姉弟

* ことねちゃんとちなつちゃんへ *

山下 穂菜美

のの花かんまつりのときは木に登ったり、おにごっこをしたり楽し

かったですね。私もあなたたちと遊べてとても楽しかったです。

ことねちゃんたちはうんどうは好きですか? わたしはとっても好きです。

こんど、のの花かんであった時はもっといっぱいあそびましょね。

これでこの手紙はおわります。

ほなみより



ちなつ&ほなみ

事務局日誌より

3/13(金)19:00～3月定例会
3/19(木)18:00～稲田デュオミニコンサト
3/27-28(金土)12:00～みやざきおやこ劇場高学年合宿
4/14(火)会計監査
4/25(土)18:30～4月定例会・19:30～理事会
5/2(土)第15回野の花館まつり・春を食べる会
5/10(日)14:00～09年度定期総会・5月定例会

これからの予定

6/26(金)19:00～6月定例会
6/28(日)14:00～ミールミニコンサト(第19回)
7/4(土)10:00～郷土料理教室(冷や汁他)
8/15(終戦記念日)平和を考える集い09
二人の会(花いちもんめ)公演

土呂久探訪記

S/ブライアン氏が5月に2度も高千穂土呂久を訪ねたというので、一文をお願いしました。

野の花館祭りで土呂久から来てくれた佐藤さんたちと会いました。アジア砒素ネットワークと一緒に土呂久に行く機会があると教えてもらって、すぐマイカーを出して、初めての高千穂への旅に出かけました。日之影からの風景は絶好で今まで行かなかったことが悔しかったです。着いたら、慎市さんとマリ子さんと萌さんから山の幸のご馳走をいただいて幸せでした。慎市さんに山の上まで土呂久のこと、鹿や自然からアヒヤキと公害まで、を説明してもらって頭まで満足していっぱいになりました。千円で素泊まりできるところが非常に気に入りました。玄関を出るだけで森林セラピー効果を感じます。朝早くおきて、土呂久山荘・吹き谷の裏の川を歩いて、岩の間にコーヒーを飲みながら回りの山を見上げると気持ちがよくて説明しきれません。夜の星もきれいです。あまりにも感動したので一週間後また家族3人で行きました。充実した2泊2日でした。猪のすばらしい生命力を見て、最後の最後まで戦って行く姿が忘れられません。理想はベジタリアンですけど、日本に狼を連れ戻すまでは、森や畑のために鹿と猪の命をいただくしかないだろうと思います。輸入とうもろこしを食べている豚や牛より、地産地消らしくて、環境にも体にもいいだろうと思います。今度の田植えの手伝いに行くのを楽しみにしています。多くの人と一緒に行って、メディアなど作られたストレスから休憩して、本物の体験で充電・癒しをしに行きたいと思っています。

野の花館へのご支援感謝します！

2009年度分会費、寄附金をよせてくださったみなさまです。
(09.3.1.～09.5.31.受け入れの方々)[順不同、敬称は省略させていただきました]

石崎諭・春江、伊藤美穂子、岩切三代子、宇都宮ゆきえ、岡田心平、岡山勇、柿田安岐子、勝山袈人、金子信吾、河上彩、北川義男、木下昌子、黒木えり子、黒木啓純、黒木至美、黒沢康子、小林祐子、小森邦子、佐賀百合子、佐藤慎市・マリ子、佐藤登貴子、佐藤亮、里見照子、杉田良子、S.ブライアン、高橋裕子、高山修二、竹嶋寛・道代、田中里美、田村直美、田村光弘、千竈八重子、坪井好江、遠田辰芳、戸高あすか、友成昌亮、永岡まつ子、長友君子、永崎翠、永山由美好、成見幸子、西田守、野田直子、則松和恵、蓮野勇、浜砂和彦、林真美、平川智美、平吉洵子、藤田規子、藤原慶子、前弘之、松丸まき子、松本和育、みやざきおやこ劇場、山口敦子、山下久美子、山本ちよび、吉田佳世
早々に会費寄附金をありがとうございました。

〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 2664
ご意見ご感想ご質問などお寄せください。

phone & fax;0983-23-0701
宛先; 特定非営利活動法人 野の花館